【高知県】

高知商業高等学校
ジビエ商品開発・販売促進部

高校生ボランティア・アワード2023

「陸の豊かさを守り続ける」

活動概要

～循環型社会貢献の実践～ Practicing A Circular Ecological Economy

高知県は森林率が全国１位。海山川など、豊かな自然に囲まれた私たちの生活は豊かです。そのような豊かな自然の恩恵の一方で、高知県ではニホンジカやイノシシなど野生鳥獣による農林水産業への食害が深刻な地域課題の一つとなっています。

そこで、私たちは立ち上がりました！「ジビエを利活用して」循環型社会を実現し、陸の豊かさを守ろう」と。

高知商業高校ジビエ商品開発・販売促進部（通称「ジビエ部」）は、高知県内で捕獲された野生のニホンジカやイノシシの肉をジビエ（狩猟で捕獲された野生鳥獣のお肉のこと）として利活用・商品開発・販売までを行い、得られた利益を野生鳥獣の食害を受けた森林保護活動に寄付している創部６年目の部活動です。

【ジビエ部の組織】部員数は25名（2023.06.09.時点）

① 商品開発課（ジビエを利活用した商品を開発しています）
- １）地商開発班（高知県内向けに販売する商品を開発しています）
- ２）外商開発班（県外向けに販売する商品を開発しています）
- ３）ペットフード開発班（ペットフード商品を開発しています）

② 販売促進課（ジビエ商品の販売にかかわる業務を担当しています）
- １）地産地商班（高知県内での販売にかかわる業務を担当しています）
- ２）地産外商班（県外向け商品の販売にかかわる業務を担当しています）
- ３）ペットビジネス班（ペットフード商品販売にかかわる業務を担当しています）

③ 企画課（ジビエ部の経理、シフト調整、広報などを行っています）
- １）企画・調整班（販売担当者のシフト調整と会計処理を担当しています）
- ２）企画・広報班（ジビエ部のインスタグラム更新や通信発行を担当しています）
- ３）アグリビジネス班（耕作放棄地の再生と野菜栽培の準備を担当しています）

【ジビエ部の活動】

① 高校生ジビエ・レストラン出店（高知市役所内にあるレストランでの出店）
② 高知県内各地でのジビエ商品の販売（道の駅や街路市、大型商業施設内など）
③ 活動内容の発表や森林保護啓発活動（生物多様性推進リーダーとしての役割）
④ 高知県外での外商活動（東京ドームや四国内通販サイトでの商品販売）
⑤ 森林保護活動に参加（寄付金だけでなく直接被害を見に行きます）
⑥ 寄付金贈呈（高知県内の森林保護活動団体へ販売利益の寄付）
※ 寄付金は防鹿ネットや植樹用苗木の購入費用などに充てられる。
⑦ 高知県内で開催される県産品商談会への出展

「夢は『ジビエを宇宙食に！』」

活動の目的・志など

私たちの活動目的は、「循環型社会の実現で高知の陸の豊かさを守る」ことです。この活動目的のもと、ジビエを利活用した商品販売により得られた利益で森林保護活動を支援することで、私たちが目指す循環型社会が実現します。

私たちには大きな目標があります。それは「ジビエを宇宙食にする」こと。宇宙食になるということは、ジビエが日本人のソールフードになっている必要があります。どうずればお客様が私たちの商品を手に取ってくれるのか。どうすればもっともっとジビエが社会に普及し、陸の豊かさを守ることにつながるのか。私たちは日々試行錯誤しながら、目標実現に向けて取り組んでいます。

今の私たちが宇宙食を実現できなくても私たちの思いをつないでくれる後輩たちがいます。５年前、私たちの先輩たちが鹿ジャーキーを開発しました。当時の先輩が「この商品を首都圏でも販売したい」と言っていました。まさに、これを私たちが実現しました！そう考えれば、「ジビエを宇宙食に！」という夢はそれほど遠いものではないと信じています。

The Power of a Vocational High School 地域活動に捧げる私たちの青春

ジビエ部が寄付した金額

○	令和元年度	200,000円
○	令和２年度	100,000円（コロナ禍で出店制限あり）
○	令和３年度	300,000円（クラウドファンディング実施）
○	令和４年度	400,000円（４年間で寄付金1,000,000円達成）
○	令和５年度	500,000円（目標）

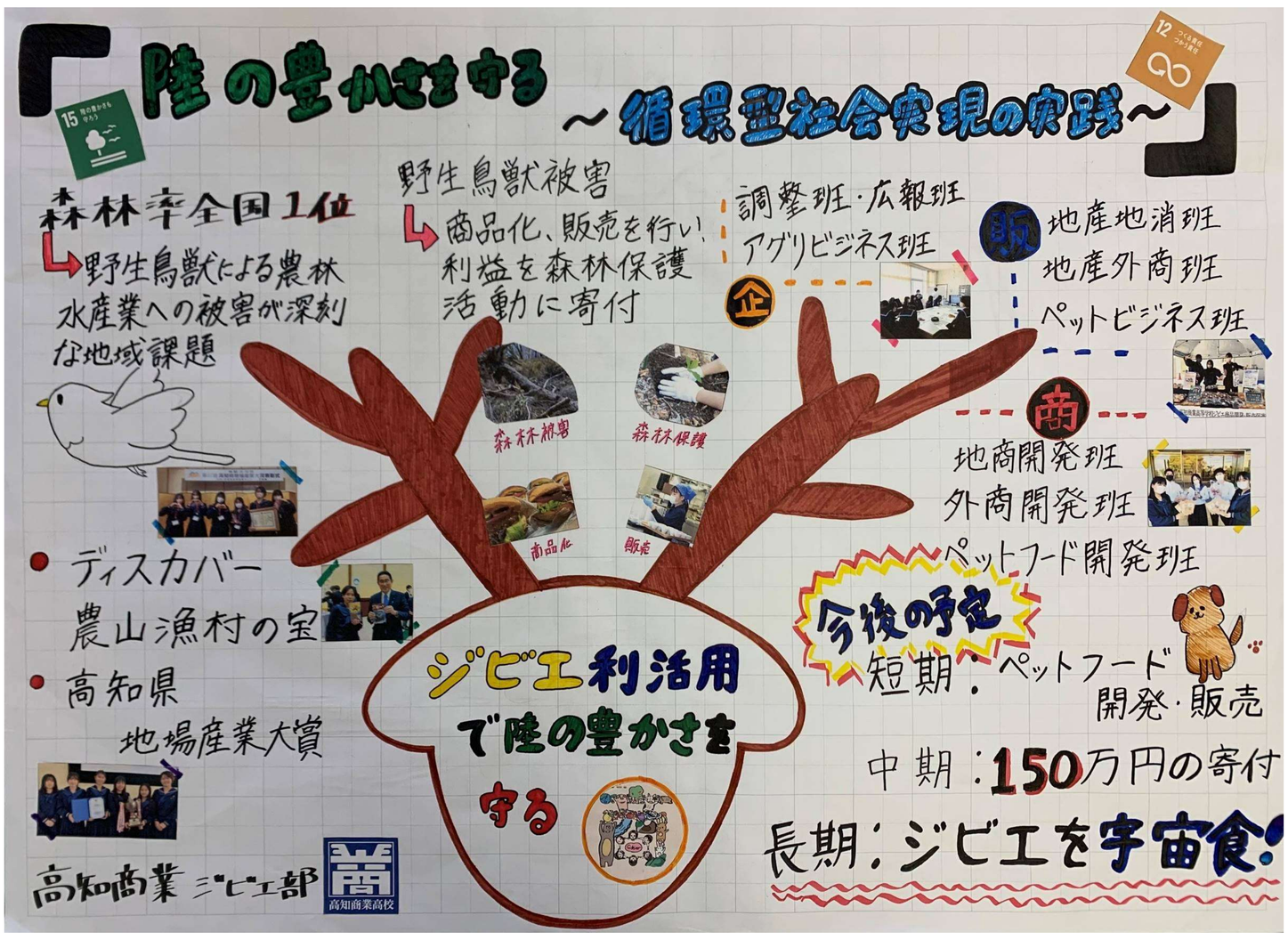
高校生ジビエ・レストラン出店

○	令和２年度	高知市内　高知 蔦屋書店内で９月に実施
○	令和３年度	高知市役所で７月、８月、３月に実施
○	令和４年度	高知市役所で７月、８月、３月に実施
○	令和５年度	高知市役所で７月、８月、３月に実施予定

第９回ディスカバー農山漁村の宝選定・ジビエ賞受賞

2022年11月、私たちジビエ部は国が主催する「第９回ディスカバー農山漁村の宝」選定において、地域の資源を有効活用し、新たな価値を創造し続けていることから、全国優良事例に選定され、特別賞「ジビエ賞」を受賞しました。

これからも地域の課題に目を向け、ジビエ利活用と循環型社会実現のための活動に継続して取り組んでいきます。



変わり続け、挑戦し続ける　今後の展望・夢など

Keep Changing, Keep Challenging. And always be a trailblazer!
「変わり続け挑戦し続けよ。そして常に先駆者であれ！」
これはジビエ部のモットーです。

ペットフードに挑戦！目標寄付金額50万円を目指して

2022年、私たちジビエ部の森林保護活動への寄付金は、先輩たちが寄付したものと合わせると、1,000,000円を達成しました。どうすれば持続可能な支援を続けられ、高知の陸の豊かさを守り抜くことができるだろうか。そう考えた私たちは、2023年度の目標金額を500,000円に設定しました。昨年度の寄付額よりも100,000円多いことになります。

この目標金額を達成するために何ができるかをみんなと話し合った結果、ペットフードに挑戦しようという結論に達しました。

【ペットフード商品開発・販売の理由】
１）販売会で開発商品の鹿ジャーキーを「ペット商品」と思った人が50%。
２）「ペットフードを商品化してほしい」という意見が全体の約30%。

【仮説】
ペットフードビジネスに挑戦すれば、100,000円の利益を得られるのではないか？

この目標達成に向けて、変わり続けるジビエ部は、今年１年間挑戦していきます！

活動団体プロフィール

2018年 ７月	ジビエを利活用した開発商品第１号「鹿カレーパン」販売開始
2018年 ８月	全国商い甲子園大会初出場　安芸市観光協会長賞受賞
2018年10月	開発商品第２号「鹿ジャーキー」開発、販売開始
2019年 ２月	高知県香美市で開催された「狩猟フォーラム」に参加
2019年10月	四国ジビエグルメフェスタ2019で「ジビエ１準グランプリ」受賞
2019年11月	はじめて「三嶺の森をまもるみんなの会」へ200,000円寄付
2020年 ９月	高知 蔦屋書店で初の「高校生ジビエ・レストラン」出店
2020年11月	森林保護支援金100,000円寄付
2021年 ７月	高知市役所レストランで初の「高校生ジビエ・レストラン」出店
2021年10月	クラウドファンディングに挑戦し目標金額を上回る支援を得る
2022年 ３月	森林保護支援金300,000円寄付
2022年 ４月	東京ドームVIPルームで「鹿ジャーキー」提供開始
2022年 ７月	高知市役所レストランで「高校生ジビエ・レストラン」出店
2022年11月	第９回ディスカバー農山漁村の宝選定、特別賞「ジビエ賞」受賞
2023年 ３月	森林保護支援金400,000円寄付
2023年 ５月	ペットフード商品発売開始